

成人T細胞白血病リンパ腫と診断され、一部の血液検査項目以外はすべて基準値内で、現在は経過観察ですが心配です。注意すべき点や病気の特徴について教えてください。

(沖縄市主婦・70歳)

白血病診断、無治療大丈夫？



那覇市立病院
内科総括科部長
新垣 均

成人T細胞白血病リンパ腫（ATLL）は悪性リンパ腫という血液がんの中に含まれる特殊なタイプの病気です。HTLV-1というウイルス感染が原因になっており、ウイルス感染者をキャリアアといいます。キャリア

500人の中から1年間に1人程度の割合で発病しますが、キャリアが九州・沖縄に多いことから発病した患者さんも九州・沖縄に多くいます。ATLLには他の悪性リンパ腫とは異なる特徴がいくつかあります。まず病名に示されるように成人（大人）にしかない病気です。ウイルス感染の大部分は乳児期の母乳感染ですが、発病のピークは50歳過ぎです。また白血病とリンパ腫の

Dr.の けんしん 見診

二つの顔を持っていて、白血病のようにがん細胞が血液を流れていたり、リンパ腫のようにリンパ節が腫れたり、しこりを形成したりします。一般のリンパ腫では血液中にがん細胞が出てくることは白血化といって病気が悪化した状態を意味しますが、ATLLでは初期段階から血液中にがん細胞を認めます。また進行状況により「くすぶり型」「慢性型」「リンパ腫型」「急性型」に分類されますが、通常「くすぶり型」と「慢性型」では治療を必要としません。がん細胞が出ていても5年・10年と落ち着いた状態が続くことが多いからです。しかし一部の患者さんでは「急性転化」といって「急性型」に悪化するこ

とがありますから、定期的な検査は必要です。症状は発熱、食欲低下、リン

ATLLか？定期健診を怠らず

パ節腫脹、皮膚症状など多彩です。治療の基本は抗がん剤治療です。特効薬はなく「リンパ腫型」「急性型」の治療成績は決してよくありませんが、最近ATLLに対する新薬の開発が行われており数年後には一般診療でも使用できると期待されています。今回のご質問者の場合、キャリアではなくATLLを発病しているものと思われませんが、治療を必要としないことから「くすぶり型」か「慢性型」のどちらかであると判断されます。前述のように原則的には無治療でかまいません。ただし悪化する可能性はありますので担当の医師と相談した上で、定期検査を必ず受けるようにしてください。

.....
あらかきひとし 50歳、那覇市出身。1986年三重大学医学部卒業。92年から那覇市立病院勤務。

「Dr.の見診」では皆さんから病気や健康についての質問を受け付けています（100字以内）。はがき、FAXまたはメールでお寄せください。

kenshin@lequio.co.jp